

## 女子鉄アナウンサー・久野知美さんが 北海道新幹線の建設現場と 「つながれーる道南」を訪問



久野知美 (くの ともみ)

大阪府寝屋川市出身。筋金入りの鉄道好き“女子鉄アナウンサー”としてテレビ朝日「タモリ俱楽部」、TBSラジオ「赤江珠緒 たまむすび」、テレビ東京「ハーフタイムツアーズ」をはじめ鉄道関連企画のテレビ、ラジオ、イベントに多数出演。関東私鉄3社の列車自動アナウンスも担当している。現在のレギュラーは、BS日テレ「友近・礼二の妄想トレイン」、BSフジ「鉄道伝説SP」、「Let's トレ活!」など。著書に『女子鉄アナウンサー久野知美のかわいい鉄道』、『東急電鉄とファン大研究読本』ほか5作品。

数々のテレビやラジオ、イベントで活躍されている女子鉄アナウンサーの久野知美さん。今回、北斗市にて建設が進む北海道新幹線の工事現場のほか「つながれーる道南」を見学されました。久野さんの新幹線への愛があふれた取材の模様をご紹介します。

### 新幹線のトンネル工事現場に 胸がときめく

京阪電車の沿線で生まれ育った久野さんは、学生時代には全国のJR普通列車に乗り放題の「青春18きっぷ」を使って就職活動をしたという筋金入りの鉄道ファン。北海道新幹線も

2016年3月26日の新青森・新函館北斗間開業時には一番列車に乗車されたそうです。

久野さんが最初に訪れたのは、新函館北斗駅に近い渡島トンネル村山工区の坑

口でした。村山工区は既に土木工事が終わり、軌道敷設など次の段階の工事を待っています。

「わあ、新幹線のトンネルは大きいですね。一番列車で初めて新函館北斗駅に来た時は、まだ駅の先で高架橋が途切っていたんですけど、こんなに立派なトンネルができる、感慨深いです！」

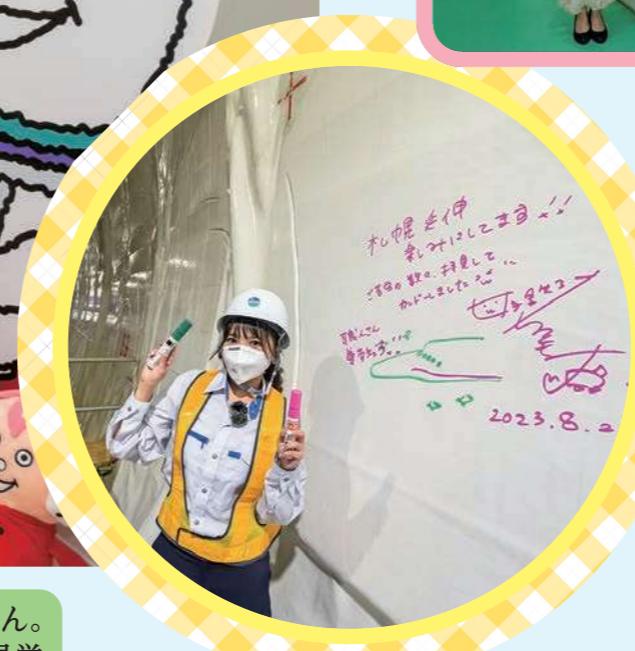
続いて訪れた台場山工区では、トンネル壁面にコンクリートを施工する巨大な覆工セントルをはじめ、掘削現場付近まで見学しました。久野さんは、トンネル内の防水シートへ「多くの方が日々開業に向けてがんばっておられる姿に感動しました。札幌開業の時には必ずまた一番列車に乗りります！」と思いをしたため、エールを送ってくださいました。

### 本物のグランクラスシートで 札幌開業を夢見る

その後、新函館北斗駅前の道南拠点オフィス「つながれーる道南」へ。2023年3月にオープンしたオフィスで、北斗鉄道建設所のほか、北斗市・長万部町間の工事統括機能を果たす「北斗事務所」が置かれています。1階には誰でも見学できる広報展示スペースが併設され、JRTTの



掘削現場付近で説明を聞く久野さん



訪問の様子  
(YouTube動画) は  
こちらから!



技術や北海道新幹線建設に関する情報をお伝えしています。

今年は、青函トンネル開業35周年。広報展示スペースでは、福島町にある青函トンネル記念館からお借りした貴重な資料を期間限定で展示しています(取材当時)。

「この電話は、まさに歴史を動かすその瞬間に使われていたものなんですね」

久野さんが手に取ったのは、操作用電話機。この電話機と隣の発破スイッチは、1983年1月17日に青函トンネルの先進導坑(本坑に先立って調査・作業のために掘られる小径トンネル)が貫通した際、実際に使われたものです。これらの装置は東京の首相官邸に置かれ、当時の中曾根康弘内閣総理大臣がボタンを押して発破が行われました。

「このボタンによって、北海道と

本州が初めてつながったんですね。そう考えると感慨深いです」

ほかにも、広報展示スペースには新幹線建設のプロセスを分かりやすくガイドする「新幹線がはしるまで」や、JRTT独自のトンネル掘削技術である「SENS」についての模型や解説など、興味深い展示が盛りだくさん。北海道新幹線や地元・北斗市についてのクイズコーナーもあり、楽しみながら新幹線と地域に詳しくなれます。

入口付近には、本物のH5系グランクラスのシートが展示され、自由に座り心地を試すことができます。

「札幌まで開業したら、このぜいたくなグランクラスでのんびりしているだけで、札幌の中心に着いてしまうんですね。ご高齢の方も気軽に出てかけいただけるようになりますし、とても便利になりますね。早く開業

してほしいって、  
ますます思うよ  
うになりました！」

丸1日、北海道新幹線の最新状況を見て回った久野知美さん。新函館北斗から札幌までの新たな区間の開業を期待する気持ちが、ひしひしと伝わる取材でした。



### つながれーる道南 広報展示スペース

JR新函館北斗駅南口から徒歩5分  
入場無料／9:30～17:00／土・日曜祝日休館

